

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月9日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	入間市	代表者名	杉島 理一郎
担当者部署	企画部情報政策課	連絡先電話番号	04-2964-1111
担当者役職	主幹	担当者氏名	小久保 昌宏
住所	358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	地域共生社会、2040年問題、自治体DXについて、わかりやすい説明であった。DXは単に情報システムを利用することではなく、デジタル技術を利用し、業務を変革することであると幹部職員に対し説明していただいた。また、ボトムアップではなく、経営者側になる部長・次長クラスによるトップダウンによる指示が重要であるということの説明していただいた点がよかった。
アドバイザーへの要望事項	当市がDXを推進する上で、優先すべき事項についてご教授していただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月2日	9時55分	11時40分		105
3-2. 派遣場所	会場名	入間市庁舎		最寄駅	入間市駅
	所在地	埼玉県入間市豊岡1-16-1		最寄駅からの交通手段	徒歩10分
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市長、副市長、教育長、部長	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	国においてデジタル庁が創設され、今後、自治体DXが推進されることにより、市がどのように対応していけば良いのかが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の理解と自治体DXは一部の部署が目指すのではなく、各部署がそれぞれデジタル技術を活用し、業務を変革していくことの必要性の認識。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の説明と、各部署がそれぞれデジタル技術を活用し、業務を変革していくことの必要性の説明。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の理解と自治体DXは、情報部門がやれば良いということではなく、それぞれの部門が推進する必要があることの意識付けができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない自治体DXの推進に合わせ、業務を変革する必要があり、幹部職員への意識付けができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、自治体DXに関する基本的な内容であったため、アンケートを行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	入間市のDX推進	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力で書き込んで下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月9日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	入間市	代表者名	杉島 理一郎
担当者部署	企画部情報政策課	連絡先電話番号	04-2964-1111
担当者役職	主幹	担当者氏名	小久保 昌宏
住所	358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	地域共生社会、2040年問題、自治体DXについて、わかりやすい説明であった。DXは単に情報システムを利用することではなく、デジタル技術を利用し、業務を変革することであると幹部職員に対し説明していただいた。 また、ボトムアップではなく、経営者側になる部長・次長クラスによるトップダウンによる指示が重要であるということの説明していただいた点がよかった。
アドバイザーへの要望事項	当市がDXを推進する上で、優先すべき事項についてご教授していただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月2日	13時15分	15時00分		105
3-2. 派遣場所	会場名	入間市庁舎	最寄駅	入間市駅	
	所在地	埼玉県入間市豊岡1-16-1	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	次長、参事	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 国においてデジタル庁が創設され、今後、自治体DXが推進されることにより、市がどのように対応していけば良いのかが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の理解と自治体DXは一部の部署が目指すのではなく、各部署がそれぞれデジタル技術を活用し、業務を変革していくことの必要性の認識。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の説明と、各部署がそれぞれデジタル技術を活用し、業務を変革していくことの必要性の説明。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXの本質の理解と自治体DXは、情報部門がやれば良いということではなく、それぞれの部門が推進する必要があることの意識付けができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 自治体DXを推進するには、業務を変革する必要性があり、幹部職員への意識付けができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、自治体DXに関する基本的な内容であったため、アンケートを行っていない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	入間市のDX推進	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

